

相手を許さないのは

自分が正しいと思ひ込んでいるから

悪いのはすべて相手であり、自分は悪くはないと主張する人も多く、先に「悪いのは相手だ。」と言った方が勝ちのようにも思われる昨今ですが、これについて、ある御同行のお婆さんの有難いお話を思い出します。

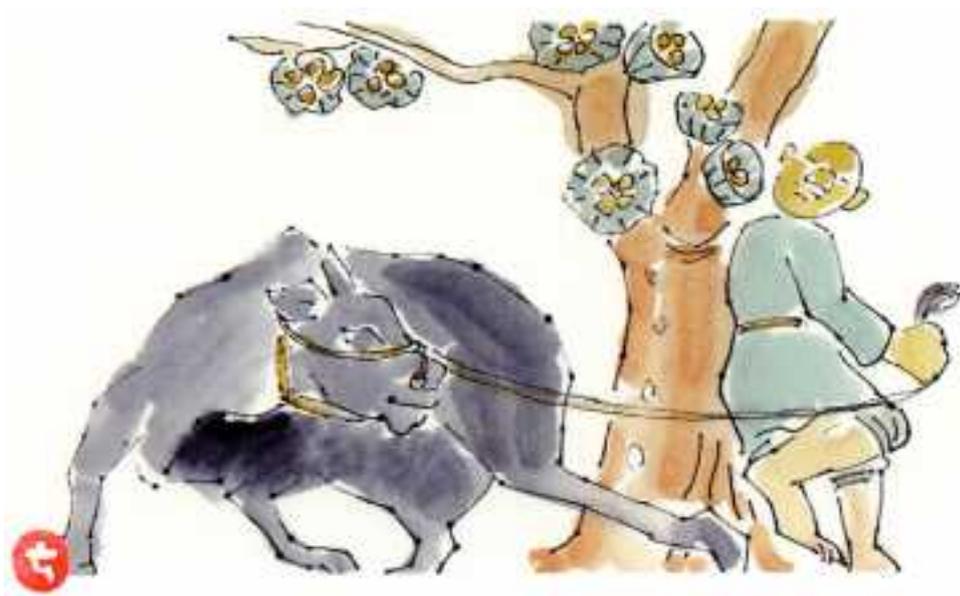
そのお婆さんは少し足腰を痛めていたため、家の中での立ち振る舞いは大丈夫でしたが、長い時間は歩けない状態でした。

そこで、病院に行くには一人では出かけられないため、近くに住む娘さんが、車で病院への送り迎えをしていました。

いつもの通り、病院へ送り迎えをしてもらったある日のことです。家まで送ってもらったとき、家に着いたので、車から降りて立っていたところ、娘さんが車をユーターンさせようとした際に、お婆さんに車が軽く当たってしまったそうです。

幸いにも何の怪我も無く済んだそうですが、そこでお婆さんは、「私がぼんやりしていたから車に当たってしまい悪かったねえ。」と娘さんに謝ったそうです。

すると娘さんは、「お母さん。私だから謝っても良いけれど、他の人や車だったら絶対にこんなとき、謝ったら駄目だよ。」とお婆さんに言ったというのです。



そこでお婆さんは、「なんて世知辛い世の中になったことなのでしょうね。私がぼんやりして避けずにいたから車に当たってしまった。自分が悪かったから謝っただけなのに、それを謝ってはいけないうんてどういふことなのでしょう。」と悲しそうな顔をして話して下さ

いました。

このお話しを読まれて、あなたはどうか思われますか。車を当てしまった娘さんが悪いですか？それともぼんやりして車を避けなかったお婆さんですか？